

## 研修報告

### 相互啓発研修

主催：機能分野別研修委員会

- ◆テーマ：災害医療ソーシャルワーク
- ◇講師：丹羽 雅裕氏（愛知県医務課 救急・周産期・災害グループ課長補佐）
- ◇研修日：2019年9月13日（金）14：00～16：00
- ◇会場：協会事務所
- ◇参加人数：15名



（研修中の様子）

#### ◆研修の内容について

本研修は「災害医療ソーシャルワーク」をテーマに初めて当協会で開催したものでした。愛知県の災害医療対策について、医務課課長補佐の丹羽氏に講義頂きました。災害時の福祉的ニーズ、発災から復旧までフェーズごとの行政機関の災害対策のながれ、災害支援組織、専門職組織などについて理解を深めました。また災害時の医療と福祉の連携については、愛知県としても課題と捉えていることが分かりました。

その後、各災害拠点病院のMSW同士でのグループワークでは、組織内の位置づけ、業務マニュアル・BCP（事業継続計画）等において備えをしているのか、地域で果たすべき役割とは何か、他病院の取り組み事例から学べるよい機会となりました。参加者からは、自院での備えに危機感を感じられた方や、もっと実践的な相談スキルを学びたいとの声を頂きました。災害医療ソーシャルワークをテーマにした研修は、今後も随時開催して参りますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

#### ◆アンケート コメント紹介

- ・各病院の災害への対策を聞くことができた。多くの病院がマニュアルの中にMSWの動きが明記されていない。専門性を活かせる行動がとれるよう整備していく必要がある。
- ・県の医療救護活動計画について、職場で報告したい。SWとして共通の対応スキルが身に付くような学習機会をつくってほしい。
- ・災害対策の実践があるMSWの話が聞きたい。
- ・医療機器業者に災害について課題を聞いてみようと思った。

研修委員長 片寄 慶